

第8号 2023年3月2日



業務第1チーム 主任 柴田 諒  
名城大学 理工学部 材料機能工学科  
2010年卒

## ハイテムLHS

こんにちは！業務第1チームの柴田です。

当社の大きな開発プロジェクトの1つ「LHS」の根幹である設計関係を担当させてもらっています。

LHSとは”Layer House System”の略で、鶏舎は建物としてではなくケージの上物と考えることでシステム化し、ケージとセットで設計販売していくプロジェクトです。

名古屋にある飯島建築事務所さんと協力して詳細を設計しています。名古屋大学からの紹介で、構造関係が非常に得意な設計事務所です。

写真1 打合せの様子



開発経緯と内容についてご説明します。

現在、鶏舎建物はユーザー様(顧客)調達で現場ごとに違うものが出来上がっています。

それを設計統一して効率的かつコスト競争力のある鶏舎を設計しようという構想です。

私は入社してから現在まで12年間、鶏舎プロジェクトプランニングに関わってきました。

その経験を活かし、良いものを選定&導入してLHSに活かさないかと考え取り進めています。

具体的な内容を簡単に紹介します。

まず、実際に海外のシステム建築の鶏舎が国内にあり、飯島設計と視察を行いました。

イスラエルにあるアグロトップという会社の製品(プレハブ式鶏舎)です。

2004年にハイテム主導で協力工務店が建築を行いました。

写真2,3 千葉県アグロトップ鶏舎現場調査



鶏舎室内(=鶏空間)は埃が多い環境で、掃除や洗浄をしやすくするために壁を柱の内側に貼ります(側壁の突起物を無くしツルツルにすることが好まれます)。

実はこれが雨漏りの原因となりがちで、それをいかに低コストで対策・仕上げをするかがポイントとなります。

従来工法では地元の板金屋さんが手作業で行っていますが、当社ではそれをパーツとして製造し、誰でも簡単に施工できる形を考えています。

写真4 壁周りの雨水対策例(外から見た写真です)



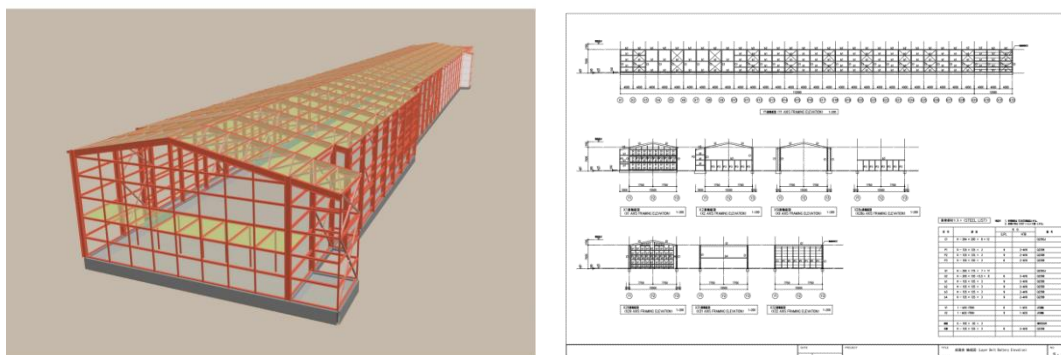
次に、構造の最適化です。

建築基準法では風速・地震・積雪の条件で必要な強度が定められています。

それを満たす構造計算が必要です。

飯島建築事務所さんの力を借りて、最適でかつ無駄がない設計を検討しています。

### 鶏舎設計例(パース図・構造図)



LHS 完成までの道のりは長く険しそうです。しかし、必ず実現すると信じて頑張っています。LHSに限ったことではなく、ハイテムでは大きな仕事を任せられます。その分責任も大きいですが、達成感も人一倍大きいところが魅力だと私は感じています。友達と話をしていると、「大きなことで悩んでいるね」とよく言われます。

是非、ハイテムを検討してみてください。

以上